

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年1月22日～1月28日)

平成 27 年(2015 年)1 月 30 日

H E A D L I N E S

政治

アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所解放70周年記念式典の開催
 ポーランド政府、ウクライナ・マリウポリ市への砲撃を非難
 コモロフスキ大統領、オランド仏大統領及びポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談

経済

シレジア地方の再工業化に向けて－経済省
 2015年度通常予算が成立
 2014年の経済成長率は3.3%
 12月の失業率は11.5%
 12月の新規受注は大幅に増加
 12月の消費は回復
 ポーランド企業はイノベーションが進んでいない
 シェールガス埋蔵量の再評価を今年実施
 タウロン社の株価が急落、Brzeszcze炭鉱買収の報道を受け
 大統領が改正炭鉱法に署名
 ポーランド政府と欧州委員会が炭鉱部門のリストラについて協議
 JSW社の炭鉱がストライキを開始
 ポーランドは安価に生活できる国

大使館からのお知らせ

シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所解放70周年記念式典の開催【27日】

27日、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制・絶滅収容所解放70周年記念式典がビルケナウ収容所跡地において執り行われ、元被収容者約300名、49カ国の代表(コモロフスキ大統領、オランド仏大統領、ガウク独大統領、ポロシェンコ・ウクライナ大統領他)、宗教関係者等が出席した。コモロフスキ大統領は、同式典にて後援者として演説を行い、アウシ

ュヴィッツは、我々の文明が崩壊した場所であり、システマティックに人間の尊厳を奪い取った場所である。アウシュヴィッツの記憶はここで行われた重罪に関する記憶で留まってはならず、人々、民族、イデオロギー、そして政治に内在している重罪の原因に関する熟考を伴わなければならない。ポーランドは2つの全体主義が大量虐殺を行った場所であり、ポーランド人は特にこの悲劇の記憶の番人である旨述べた。

外交・安全保障

ポーランド政府、ウクライナ・マリウポリ市への砲撃を非難【24日～26日】

24日のウクライナ親露分離主義者支配地域から同国東部マリウポリの市街地に向けて行われた砲撃に関し、同日、ポーランド外務省は数十人の文民の死をもたらした同砲撃を強く非難する声明を発売した。また26日、コモロフスキ大統領は、今次砲撃は紛争激化を目的とした意識的なものであり、非常に重く否定的な結果をもたらした。EUは対露制裁の更なる強化を検討する必要がある旨述べた。

コモロフスキ大統領、オランド仏大統領及びポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談【27日】

27日、コモロフスキ大統領がアウシュヴィッツ＝ビルケナウ収容所解放70周年記念式典出席後にクラクフにてオランド仏大統領及びポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談した。オランド仏大統領とは、主にウクライナ情勢及びワイマール・トライアングル(ポ・独・仏)協力に関し意見交換が行われ、ポロシェンコ大統領とはウクライナ東部情勢が主要議題として取り上げられた。

経 済

経済・財政政策

シレジア地方の再工業化に向けて－経済省【21日】

ポーランド南部シレジア地方の再工業化に関し、ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、政府は地方自治体と協力しつつ、将来有望なセクターを基本に同地域の開発を進めると述べている。この件に関し、経済省アントニシン＝クリク次官は、炭鉱の開発も十分認識しつつも、対象として今後30～40年後に有望な産業、そのほか、労働集約的なものに限らず最先端の技術で自動化された産業、下請けへの波及効果の大きい産業や資源・エネルギーの高度化に関連する産業も候補にあがるだろう、と述べている。さらに、同次官はカトヴィツエSEZの拡大とそ

のためのEU基金の申請や鉱山跡地の活用について他のEU諸国の知恵を借りたいとも述べている。

2015年度通常予算が成立【23日】

コモロフスキ大統領は、上下院を通過した予算案に署名し、2015年度の通常予算が成立した。歳入は2,971億7千万ズロチ、歳出は3,432億5千万ズロチとなっており、財政赤字は460億8千万ズロチ以下に抑えることとなっている。また、年間成長率は3.4%、年末の失業率を11.8%、インフレ率を1.2%、財政赤字は2.8%以下を想定しており、多少楽観的との指摘もある。

マクロ経済動向・統計

2014年の経済成長率は3.3%【27日】

中央統計局(GUS)によれば、2014年の年間GDP成長率は、前年の1.7%より大幅に増加した3.3%との速報値が出ている。内需の増加が大きく前年度比で4.6%、なかでも投資は同9.4%の成長となっている。他方、同年第4四半期は3.0～3.2%の成長に止まる予想が出ている。

12月の失業率は11.5%【27日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の失業率は前月の11.4%より僅かに悪化した11.5%となった。12月末の登録失業者数は、前年同期比15.4%減の1,825,200人となっているが、他方、新規求人は前月の69,100人より減少した54,900人。23

1の組織・団体が、公共部門5,100人を含む25,000人を解雇予定と発表している。

12月の新規受注は大幅に増加【27日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の新規受注は、前年同月比で11月の同3.4%増より大幅に増加した12.3%増となっている。前月比では、11月の同8.6%減から回復した3.3%増。同様に新規輸出受注も、前年同月比で11月の同0.2%増から更に増加した13.1%増、前月比で11月の同5.4%減

から回復した2.8%減となっている。

12月の消費は回復【27日】

中央統計局(GUS)によれば、12月の小売販売は、前年同月比で11月の同0.2%減から回復した1.8%増となっている。前月比でも11月の同2.3%増から大幅に増加した19.6%増。クリスマス商戦は順調に回復したとみられる。

ポーランド産業動向

ポーランド企業はイノベーションが進んでいない【28日】

欧州復興開発銀行(EBRD)が発表した2014年版の市場経済移行国におけるイノベーションの進捗状況に関する報告書において、ポーランドはEU28か国中25位であった。この報告書は、市場経済への移行期にある35か国の経済状況に関するもので、ポーランド企業については、R&Dへの支出がGDP

の0.9%(EU平均は2.0%)と不十分でイノベーションは低いレベルにあると指摘している。さらに、EU加盟国ではR&Dには企業レベルで支出している一方、ポーランドでは主に政府からの支出によるものであり、結果として企業側のニーズと合わないミスマッチが起きていると指摘している。

エネルギー・環境

シェールガス埋蔵量の再評価を今年実施【23日】

環境省グラボフスキ大臣は、国内のシェールガス埋蔵量に関し、最新の試掘結果や地質調査のデータを踏まえ今年中に再評価を行うと発言した。2012年に行われた調査結果については、不確実な部分があったと述べている。また、同大臣からは、国有財産省が準備している炭化水素の採掘・抽出規制に関する法案についても発言があったが、商業生産の開始時期についての発言はなかった。

係者から待ち望まれていたと強調するとともに、この改正法が対立ではなく合意によって(コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建という)困難な問題への解決策の一つとなると述べた。この改正法を巡っては、17日の政府・KW労組間の合意を受け、上院において炭鉱買収時に競争・消費者保護庁(UOKiK)が同意すること等の修正を加え、再度下院を通過している。

タウロン社の株価が急落、Brzeszcze炭鉱買収の報道を受け【23日】

タウロン社が経営再建中のコンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の保有するBrzeszcze炭鉱買収に関心を寄せているという報道を受け、同社の株価が下がる事態となっている。Brzeszcze炭鉱は、2014年には2.3億ズロチの損失を計上しており、今後KW社の経営再建計画の進捗の影響を受けることとなる。専門家からは、エネア社との合併により買収に伴う過大なリスクを抑えることが出来るという声もあるが、タウロン社のLubera社長は、経済的、技術的及び法的観点での検討を踏まえて決定するとしている。

ポーランド政府と欧州委員会が炭鉱部門のリストラについて協議【27日】

ポーランド政府は、現在計画されている炭鉱部門のリストラに関し欧州委員会との協議会を立ち上げたと発表した。リストラ計画の責任者であるコヴァルチク副大臣は、協議について簡単ではないと述べている。26日に大統領によって署名された改正炭鉱法では公的支援について述べられているが、EU法においては、炭鉱への支援は廃止時とそれに付随する費用に対してのみとされている。コヴァルチク副大臣は欧州委員会の担当者との協議の内容を明らかにしていないが、交渉は簡単ではないことは認め、近いうちに再度協議を行うことや、今後の協議において何らかの解決策を見いだすことへの期待を述べた。さらに、週内にはリストラ計画に関し欧州委員会向けに提出する文書を完成させることについても言及した。

大統領が改正炭鉱法に署名【26日】

26日、コモロフスキ大統領は、コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建を可能とする炭鉱法の改正法に署名した。大統領は、改正法について、よりよい形で経営再建につながるものとして炭鉱関

J SW社の炭鉱がストライキを開始【28日】

Jastrzebska Spółka Węglowa (J SW) 社の

保有する5炭鉱のうち4炭鉱が28日朝からストライキを開始した。取締役会の解散と数週間前にストライキを実施した組合幹部を解雇しないこと、さらに、JSWの再建計画から炭鉱労働者の給与に関する制限を取り除くこと等を要

求している。会社側は、全ての要求を受け入れることは5.17億ズロチを削減する再建計画をあきらめることに等しいと述べている。また、ストライキの継続は3000万ズロチの損失と同等であるとも述べている。

その他

ポーランドは安価に生活できる国【22日】

ポーランドは欧州の中で最も生活費が安くすむ国である。各国の物価等生活情報のデータベースであるNumbeoのランキングでは、ポーランドは119か国中91位となっている。同サイトは、食品、公共交通機関、乗用車等の価格だ

けでなく、賃金やローンに関する情報を提供している。このランキングでは、ノルウェーとスイスが最も高く、インド、ネパール及びパキスタンが最も安価という結果になっている。

大使館からのお知らせ

シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起

1月20日、イスラム過激組織のISIL(イラク・レバントのイスラム国)を名乗る人物がインターネット上で、シリアで行方不明となっていた日本人と見られる人物2名の殺害を予告する等の映像を発出しました。

詳細につきましては、下記のリンク先の「シリア邦人拘束事案を受けた注意喚起」をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C019>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日(日)～5月18日(月)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」【1月31日(土)】

ジェシュフ市にて、ジェシュフ武道クラブ「システム」主催による空手選手権大会『オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」』が開催されます。

開催場所: ジェシュフ市, Rzeszow University of Technology's Sports Hall, ul. Poznanska 2A

詳細: www.carpathia.org.pl

【予定】チャリティーピアノコンサート【2月7日(土)】

ワルシャワ市にて、日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサートが開催されます。

開催場所：ワルシャワ市，I Zbor Kosciola Chrzescijan Baptystow, ul. Walicow 25

【予定】ロジカル・エモーション—日本現代美術展【2月13日（金）～4月26日（日）】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催されます。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されます。

開催場所：クラクフ，クラクフ現代美術館，ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

【予定】日本語 弁論大会【3月21日（土）】

ワルシャワ市にて、第36回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者による素晴らしいスピーチを是非聞きにおいでください。大会後、懇親会も予定されています。

開催場所：ワルシャワ市，University of Warsaw, ul. Krakowskie Przedmiescie

詳細：www.uw.edu.pl/，<http://www.pl.emb-japan.go.jp/>

【予定】世界 ポエマ・ナイヴネ【3月28日（土）～29日（日）】

2015年3月28・29日に開催予定の詩の朗読会にむけて朗読ワークショップを行います。チェスワフ・ミウオシュ Czesław Miłosz の詩篇『世界 ポエマ・ナイヴネ』（原題：„Świat, poema naiwne”）を朗読します。ワークショップへの参加・朗読会出演を希望される方を募集しています。

主催：Fundacja Sztuki Marebito

ワークショップ開催場所：ポーランド日本情報工科大学 Polsko-Japońska Akademia Technik Komputerowych (ul. Koszykowa 86, Warszawa)

詳細：<http://posluchajswiata.com/jp>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）